

<ねぎ> ネギ類

1. ネギ類はネギ類のほか球根類、サトイモなどの多くの作物に寄生するので前作での発生に注意する。
2. 高温、多湿のときに多発する。
3. 酸性土壌で多発するため、石灰などの土壌改良資材を施用し、土壌pHを中性近くに矯正する。
4. ほ場の湛水処理や太陽熱消毒も密度抑制に効果がある。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ダントツ粒剤	I:4A	収穫3日前まで	4回以内	株元散布
トクチオン乳剤	I:1B	収穫7日前まで	3回以内	株元灌注

<ねぎ> アザミウマ類

1. 高温乾燥の時、多発する。
2. ネギアザミウマは、えそ条斑病を媒介する。
3. 野菜類のアザミウマ類の項も参照。
4. ベネビアODを使用する場合、展着剤加用にあたっては事前にその適否を確認する。
5. ベリマークSCは希釈倍数ごとに灌注量が異なるので注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	収穫3日前まで	2回以内	散布
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	収穫3日前まで	2回以内	散布
スピノエース顆粒水和剤	I:5	収穫3日前まで	3回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
ハチハチ乳剤	I:21A/F:39(C1)	収穫7日前まで	2回以内	散布
ファインセーブフロアブル	I:34	収穫3日前まで	2回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
モスピラン顆粒水溶剤	I:4A	収穫7日前まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫3日前まで	3回以内	散布
アルバリン粒剤	I:4A	生育期(但し、収穫3日前まで)	2回以内	株元散布
アルバリン粒剤	I:4A	定植時	1回	株元散布
スタークル粒剤	I:4A	生育期(但し、収穫3日前まで)	2回以内	株元散布
スタークル粒剤	I:4A	定植時	1回	株元散布
アルバリン粒剤	I:4A	は種時	1回	播溝土壌混和
スタークル粒剤	I:4A	は種時	1回	播溝土壌混和
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	生育期(但し、収穫14日前まで)	1回	株元灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	生育期(但し、収穫14日前まで)	1回	株元灌注
ダブルシューターSE ※1	I:5・-	収穫3日前まで	3回以内	散布
グレーシア乳剤 ※2	I:30	収穫7日前まで	2回以内	散布

※1 上位作物群「鱗茎類(にら、にら(花茎)を除く)」の登録薬剤

※2 上位作物群「鱗茎類(根物、ただし、にんにく、らっきょうを除く)」の登録薬剤

<ねぎ> ネギアザミウマ

1. 高温乾燥の時、多発する。
2. ネギアザミウマは、えそ条斑病を媒介する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アクタラ顆粒水溶剤	I:4A	収穫3日前まで	3回以内	散布
ウララDF	I:29	収穫前日まで	3回以内	散布
コルト顆粒水和剤	I:9B	収穫3日前まで	3回以内	散布
ダントツ水溶剤	I:4A	収穫3日前まで	4回以内	散布
ブレオフロアブル	I:UN	収穫3日前まで	4回以内	散布
ベストガード粒剤	I:4A	育苗期後半～定植当日	1回	散布
リーフガード顆粒水和剤	I:14	収穫7日前まで	2回以内	散布
ダントツ粒剤	I:4A	収穫3日前まで	4回以内	株元散布
ベストガード粒剤	I:4A	定植時	1回	植溝処理土壌混和
アクタラ粒剤5	I:4A	植付時	1回	作条混和
アクタラ粒剤5	I:4A	は種時	1回	作条混和

<ねぎ> アブラムシ類

1. ネギアブラムシは萎縮病を媒介する。
2. 野菜類のアブラムシ類の項も参照する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ハチハチ乳剤	I:21A/F:39(C1)	収穫7日前まで	2回以内	散布

<ねぎ> ハモグリバエ類

1. ネギハモグリバエは5月及び8～9月に発生が多い。
2. ベネビアODを使用する場合、展着剤加用にあたっては事前にその適否を確認する。
3. ベリマークSCは希釈倍数ごとに灌注量が異なるので注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
グレーシア乳剤	I:30	収穫7日前まで	2回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫3日前まで	3回以内	散布

アルバリン粒剤	I:4A	生育期(但し、収穫3日前まで)	2回以内	株元散布
アルバリン粒剤	I:4A	定植時	1回	株元散布
スタークル粒剤	I:4A	生育期(但し、収穫3日前まで)	2回以内	株元散布
スタークル粒剤	I:4A	定植時	1回	株元散布
アルバリン粒剤	I:4A	は種時	1回	播溝土壌混和
スタークル粒剤	I:4A	は種時	1回	播溝土壌混和
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ヨーバルフロアブル	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	生育期(但し、収穫14日前まで)	1回	株元灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	生育期(但し、収穫14日前まで)	1回	株元灌注
ベリマークSC	I:28	収穫7日前まで	1回	株元灌注

〈ねぎ〉 ネギハモグリバエ

1. ネギハモグリバエは5月及び8～9月に発生が多い。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カスケード乳剤	I:15	収穫14日前まで	3回以内	散布
コルト顆粒水和剤	I:9B	収穫3日前まで	3回以内	散布
ダントツ水溶剤	I:4A	収穫3日前まで	4回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
リーフガード顆粒水和剤	I:14	収穫7日前まで	2回以内	散布
ダントツ粒剤	I:4A	収穫3日前まで	4回以内	株元散布
ベストガード粒剤	I:4A	定植時	1回	植溝処理土壌混和
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
ダブルシューターSE ※1	I:5・-	収穫3日前まで	3回以内	散布

※1 上位作物群「鱗茎類(にら、にら(花茎)を除く)」の登録薬剤

〈ねぎ〉 タネバエ

1. 有機質肥料や未熟堆肥を施すと多発する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注

〈ねぎ〉 ネギコガ

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ハチハチ乳剤	I:21A/F:39(C1)	収穫7日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫7日前まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫3日前まで	3回以内	散布
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注

〈ねぎ〉 ハスモンヨトウ

1. 幼虫の齢期が進むと薬剤に対する抵抗力が強くなるので早期発見、早期防除に努める。

2. 老齢幼虫は捕殺に努める。

3. 施設栽培では開口部に防虫ネットを張り、成虫の飛込みを防ぐ。「物理的防除法 4. 防虫網を用いた害虫飛来防止法」を参照する。

4. 9月～10月に多発する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
エコマスターBT ※1	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
クオークフロアブル ※1	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
デルフィン顆粒水和剤 ※1	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
バシレックス水和剤 ※1	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布
フローバックDF ※1	I:11A	発生初期(但し、収穫前日まで)	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

〈ねぎ〉 シロイチモジヨトウ

1. 野菜類のシロイチモジヨトウの項も参照する。

2. 黄色灯の利用により、発生を軽減できる。「物理的防除法 12. 黄色灯を利用した害虫防除方法」を参照する。

3. 幼虫はふ化後早いうちに葉身内に食入する。卵や若齢幼虫の発生に注意し、食入前に防除を行う。

4. ベネビアODを使用する場合、展着剤加用にあたっては事前にその適否を確認する。

5. ベリマークSCは希釈倍数ごとに灌注量が異なるので注意する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アニキ乳剤	I:6	収穫3日前まで	3回以内	散布
アフーム乳剤	I:6	収穫7日前まで	3回以内	散布

カスケード乳剤	I:15	収穫14日前まで	3回以内	散布
コテツフロアブル	I:13	収穫7日前まで	2回以内	散布
ディアナSC	I:5	収穫前日まで	2回以内	散布
ハチハチ乳剤	I:21A/F:39(C1)	収穫7日前まで	2回以内	散布
フェニックス顆粒水和剤	I:28	収穫7日前まで	3回以内	散布
ブレオフロアブル	I:UN	収穫3日前まで	4回以内	散布
プレバソフロアブル5	I:28	収穫3日前まで	3回以内	散布
プロフレアSC	I:30	収穫前日まで	3回以内	散布
ベネビアOD	I:28	収穫前日まで	3回以内	散布
ヨーバルフロアブル	I:28	収穫3日前まで	3回以内	散布
アルバリン顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
スタークル顆粒水溶剤	I:4A	定植前日～定植時	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
ベリマークSC	I:28	収穫7日前まで	1回	株元灌注
ダブルシューターSE ※1	I:5・-	収穫3日前まで	3回以内	散布

※1 上位作物群「鱗茎類(にら、にら(花茎)を除く)」の登録薬剤

<ねぎ> ネキムシ類

1. 定植前は、ほ場雑草で生活している中老齢幼虫による被害が多いので、ほ場やその周辺の除草に努める。
2. 幼虫は被害株の周辺に潜入しているため、捕殺する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ベリマークSC	I:28	育苗期後半～定植当日	1回	灌注

<ねぎ> 萎凋病

1. ベノミル含有剤あるいはチオファネートメチル含有剤を用いる場合はどちらか1剤のみを使用すること。但し、種子への処理、種籾への処理及び塗抹処理は除く。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
トップジンM水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	3分間苗根部浸漬
ベンレート水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	5分間苗根部浸漬
トップジンM水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	30分間苗根部浸漬
ベンレート水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	30分間苗根部浸漬
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
クロールピクリン	I:8B		2回以内(但し、床土は1回以内、圃場は1回以	土壌くん蒸

<ねぎ> 疫病

1. 低湿地での栽培を避ける。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アリエッティ水和剤	F:P07(P7)	収穫3日前まで	3回以内	散布

<ねぎ> 黒腐菌核病

1. 発病は場は連作を避ける。
2. 被害株はほ場に残さないように処分する。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
セイビアーフロアブル20	F:12(E2)	収穫前日まで	3回以内	散布
パレード20フロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
カナメフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	4回以内	株元散布
モンガリット粒剤	F:3(G1)	生育期(但し、収穫14日前まで)	3回以内	株元散布
キルパー	I:8F	は種又は定植の10日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
ミニタンWG	F:BM02(BM)	定植前	-	全面散布土壌混和
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
パレード20フロアブル	F:7(C2)	育苗期後半～定植当日	1回	灌注
アフェットフロアブル	F:7(C2)	生育期(但し、収穫14日前まで)	2回以内	株元灌注
ディ・トラベックス油剤	I:8A・I:8F	は種又は植付の14日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。

<ねぎ> 黒穂病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
バシタック水和剤75	F:7(C2)	は種前	1回	種子粉衣
モンガリット粒剤	F:3(G1)	は種時	1回	土壌表面散布

<ねぎ> 紅色根腐病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
-----	--------	----	----	------

ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す

〈ねぎ〉 黒斑病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフェットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	2回以内	散布
アミスター20フロアブル	F:11(C3)	収穫3日前まで	4回以内	散布
カナメフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	4回以内	散布
ジオゼット水和剤	F:19(H4)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
パレード20フロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
ロブラール水和剤	F:2(E3)	収穫14日前まで	3回以内	散布

〈ねぎ〉 さび病

1. 窒素肥料の過用を避ける。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフェットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	2回以内	散布
アミスター20フロアブル	F:11(C3)	収穫3日前まで	4回以内	散布
オンリーワンフロアブル	F:3(G1)	収穫14日前まで	3回以内	散布
カナメフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	4回以内	散布
ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル	F:11(C3)	収穫7日前まで	3回以内	散布
パレード20フロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
ラリー水和剤	F:3(G1)	収穫7日前まで	3回以内	散布
ユニフォーム粒剤	F:4(A1)・F:11(C3)	土寄せ時(但し、収穫45日前まで)	1回	株元土壌混和
カリグリーン ※1	F:NC	収穫前日まで	-	散布

※1 上位作物群「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

〈ねぎ〉 小菌核腐敗病

1. ベノミル含有剤あるいはチオファネートメチル含有剤を用いる場合どちらか1剤のみを使用すること。但し、種子への処理、種粒への処理及び塗抹処理は除く。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフェットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	2回以内	散布
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
パレード20フロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	3分間苗根部浸漬
ベンレート水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	5分間苗根部浸漬
トップジンM水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	30分間苗根部浸漬
ベンレート水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	30分間苗根部浸漬
スミレックス水和剤	F:2(E3)	収穫21日前まで	3回以内	株元散布
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
トップジンM水和剤	F:1(B1)	定植直前	1回	苗床灌注

〈ねぎ〉 白絹病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
セイビアーフロアブル20	F:12(E2)	収穫前日まで	3回以内	散布
メジャーフロアブル	F:11(C3)	収穫前日まで	3回以内	散布
カナメフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	4回以内	株元散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫前日まで	2回以内	株元散布
フロンサイド粉剤	F:29(C5)	土寄せ時(但し、収穫21日前まで)	2回以内	株元散布
モンカットフロアブル40	F:7(C2)	土寄せ時(但し、収穫30日前まで)	4回以内	株元散布
モンガリット粒剤	F:3(G1)	土寄せ時(但し、収穫14日前まで)	3回以内	株元散布
キルパー	I:8F	は種又は定植の10日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
アフェットフロアブル	F:7(C2)	生育期(但し、収穫14日前まで)	2回以内	株元灌注
ロブラール水和剤	F:2(E3)	収穫14日前まで	3回以内	株元灌注
クロールピクリン	I:8B		2回以内(但し、床土は1回以内、圃場は1回以内)	土壌くん蒸

ソイリン	I:8A・I:8B	作付の10～15日前まで	1回	耕起整地後、30cm間隔のトリ状に深さ約15cmに所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。
キルパー	I:8F	は種又は定植の10日前まで	1回	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。

〈ねぎ〉 苗立枯病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
クロールピクリン	I:8B		2回以内(但し、床土は1回以内、圃場は1回以	土壌くん蒸

〈ねぎ〉 苗立枯病(ツグクニア菌)

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ガスタード微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
バスアミド微粒剤	I:8F	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和す
ダコニール1000	F:M05(M)	出芽揃い後(出芽3日後～10日後まで)	1回	土壌灌注

〈ねぎ〉 軟腐病

1. 初夏から初秋にかけて土壌水分が高いと発生しやすい。
2. ほ場の排水性を良くする。
3. 銅水和剤はクレフノン200倍を加用すれば、薬害が軽減される。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
カスミンボルドー	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫14日前まで	2回以内	散布
カッパーシン水和剤	F:24(D3)・F:M01(M)	収穫14日前まで	2回以内	散布
スターナ水和剤	F:31(A4)	収穫7日前まで	3回以内	散布
バリダシン液剤5	F:U18(U)	収穫前日まで	2回以内	散布
オリゼメート粒剤	F:P02(P2)	土寄せ時(但し、収穫30日前まで)	2回以内	株元散布
ICボルドー66D ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
クプロシールド ※1	F:M01(M)	-	-	散布
コサイド3000 ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ドイツボルドーA ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ボルドー ※1	F:M01(M)	-	-	散布
Zボルドー ※2	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
マスタピース水和剤 ※3	F:NC	収穫前日まで	-	散布
ジーファイン水和剤 ※4	F:NC・F:M01(M)	収穫前日まで	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類(キャベツを除く)」の登録薬剤

※3 上位作物群「野菜類(だいこん、はくさい、ブロッコリー、キャベツ、レタス、非結球レタス、かぼちゃ、ズッキーニ、しょうが、トマト、ミニトマトを除く)」の登録薬剤

※4 上位作物群「野菜類(なすを除く)」の登録薬剤

〈ねぎ〉 根腐萎凋病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
ディ・トラペックス油剤	I:8A・I:8F	は種又は植付の14日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。

〈ねぎ〉 葉枯病

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アフエットフロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	2回以内	散布
アミスター20フロアブル	F:11(C3)	収穫3日前まで	4回以内	散布
ジオゼット水和剤	F:19(H4)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ダコニール1000	F:M05(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
バレード20フロアブル	F:7(C2)	収穫前日まで	3回以内	散布
プロポーズ顆粒水和剤	F:40(H5)・F:M05(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ベルコート水和剤	F:M07(M)	収穫30日前まで	3回以内	散布

〈ねぎ〉 ベと病

1. 予防散布を重点とする。
2. 気温が15℃前後となる春と秋に降雨が続くと発生が多くなる。
3. 同一成分を含む異なる商品名の薬剤では総使用回数に注意する。
4. 銅水和剤はクレフノン200倍を加用すれば、薬害が軽減される。

商品名	RACコード	時期	回数	使用方法
アミスター20フロアブル	F:11(C3)	収穫3日前まで	4回以内	散布
アリエッティ水和剤	F:P07(P7)	収穫3日前まで	3回以内	散布

ジマンダイセン水和剤	I:UN/F:M03(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
プロポーズ顆粒水和剤	F:40(H5)・F:M05(M)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ランマンフロアブル	F:21(C4)	収穫3日前まで	4回以内	散布
リドミルゴールドMZ	I:UN/F:M03(M)・F: 4(A1)	収穫14日前まで	3回以内	散布
ユニフォーム粒剤	F:4(A1)・F:11(C3)	土寄せ時(但し、収穫45日 前まで)	1回	株元土壌混和
クプロシールド ※1	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布
ドイツボルドーA ※1	F:M01(M)	-	-	散布
ボルドー ※1	F:M01(M)	-	-	散布
Zボルドー ※2	F:M01(M)	発病前～発病初期	-	散布

※1 上位作物群「野菜類」の登録薬剤

※2 上位作物群「野菜類(キャベツを除く)」の登録薬剤